

数年前に私が監修した児童書の一つに「しぜんとかがくのはっけん！366／クイズ」という本があります。令和3年に出版し、すでに16版まで増刷されているので、まあ児童書としてはよく読まれている本だと思います。主婦の友社の宣伝力が大きいのも事実でしょう。

この本の「中国語（台湾語）訳」が、最近台湾の出版社から発刊され、その見本本が届きました。中国語の題名は「一天一則 發現366個／有趣自然與科學知識」となるようです。表紙のデザインも少しちがいますが、ちゃんと「田中千尋・・・監修」と表紙に書いてあるのが嬉しいです。台湾では中国本土とちがって、「簡体字」ではなく「繁体字」なので、どのページもだいたい意味がわかります。ただ、日本語とちがって台湾には「ひらがな」に相当する文字がないので、小さな子どもが読むのは大変だろうなと思いました。

比較しながらページをめくると、日本語の本と台湾語の本は、どのページも完全に内容が一致していました。たとえば「アパルトサウルスのこどもは、一日にどのぐらい体重が増えていたの？」は、台湾語では「迷惑龍在小寶寶時期、一天大概會增加多少體重？」となるそうです。これは比較して読むと、台湾語の勉強にもなって面白いです！

